



愛子と遊ぼう！ 大森と世界で遊ぼう！

10

旅行好きのソムリエが、世界のあっちこちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私がおあなたの次の旅をもっとわくわくさせますよ！

奇妙なものが見たい

一人旅、もしくは旅先で一人の時間ができたら——私はいつも、有名な場所や楽しそうな場所ではなく、奇妙な場所や、異界、狂気、死に近い場所を進んで訪れます。人でごった返す有名な観光地に足を運ぶと全てが白昼夢のように感じられてうまく楽しめないのですが、理解に少々時間を要する場所で一人で過ごすひときは、とても愉快で、落ち着くのです。

今回はそんな、不思議なもの、奇妙なものを見に行きたがる人たちのために。
イタリアでおすすめなのは、王子が最愛の妻を亡くした悲しみを和らげるために作らせたという怪物公園 Parco dei Mostri。
ふざけているのか神秘的なのか分からない石像の数々に心が和みます。パリではお墓参りをしてみるのもいい。お墓参りというと奇妙に聞こえますが、パリには大きな墓地在3つあり、お花で飾られたオブリジェのようなお墓には、画家、思想家、音楽家、

①～④ 怪物公園、イタリア
⑤～⑧ モンパルナス墓地、フランス
⑨ スイ・ティエン公園、ベトナム



小説家、役者など数多くの有名人が眠っています。エディット・ピアフやシヨパン、セルジュ・ゲンスブールなど、自分の好きな監督や作曲家、画家、小説家に実際に会いに行ける！そんな場所に足を運ばない手はありません。パリの秋葉原です。相手は亡くなっていますが。敬愛する著名人が眠るお墓に手を合わせに行けば、きっと心の平安を取り戻せることでしょう。

さて東南アジアではどうするか？お任せください、東南アジアは奇妙と混沌の宝庫です。まずはタイの地獄寺。地獄に落ちた人間を模したスプラッター人形の山を見ているうちに、現世での苦しみをなんて瑣末なものに感じられはらず。ベトナムでは、仏教を基盤としているものの、巨大な仏像やサンタ・クロース、あの有名なネズミのキャラクターやドラえもんなどに似たキャラクターなどが入り混じり思想の壁を軽く超えた強烈な世界観を提示する壮大なテーマパーク、スイティエンパーク(Suoi Tien Theme Park)には是非足を運んでほしい。シンガポールの

ハウパーヴィラ(Haw Par Villa)も仏像や仙人の像に混じって、力士や自由の女神など関係性のよく分からない仏像が所狭しと並べられていて心地良い。ただならぬ異文化を体験し受け入れていくうちに、心もひと皮むけているはず。何があっても大丈夫、人生はクローズアップで見れば悲劇だが、ロングシヨットで見れば喜劇であると、かのチャップリンの言葉を思い出すひとときです。